

各 位

高知県中小企業団体中央会  
会 長 町 田 貴



## 品質管理研修（労働災害対策編）のご案内 （ものづくり担い手育成事業）

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本会の事業運営につきまして、格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では、本県ものづくり企業を支える技術者・技能者の育成を目指したものづくり担い手育成事業において下表のとおり機械加工技術者の人材育成を目的とした研修会を実施することとしており、今般、その一環として「品質管理研修（労働災害対策編）」を開催する運びとなりました。

本研修では、機械加工の技能・技術及び知識等に関する指導を行っている高知職業能力開発短期大学校から講師をお招きして、品質管理の内、「労働災害対策」に関する基本的な知識及び技術の習得並びに自社で水平展開できる知識・技術の習得を目指し、丁寧にわかりやすい講義を行います。品質安定や生産性向上を図るための知識を習得したい方だけでなく、**新入社員及び実務経験の少ない従業員等に対する基礎教育や復習にご活用いただける内容**となっておりますので、**技術者育成に関心があるものづくり企業の品質管理、生産性向上、人材育成等のご担当者様**におかれましては、**奮って社員様をご派遣頂きますようお願い申し上げます。**

なお、参加を希望される方は、別添「参加申込書」にてお申込み下さいようお願い申し上げます。

※新型コロナウイルス感染症への対応として、実施に当たっては感染防止対策を行うとともに、感染状況によっては、研修を中止又は延期とする場合がございます。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

### 記

- 研 修 内 容 品質管理研修（労働災害対策編）  
※内容の詳細は、別紙をご参照下さい。
- 日 時 令和2年9月29日（火）・30日（水） 午前9時00分～午後4時00分
- 場 所 香南市野市町西野 1595-1 「高知職業能力開発短期大学校 コミュニティホール」
- 申 込 方 法 別紙「受講申込書」にてお申し込み下さい。
- 申 込 締 切 令和2年9月7日（月）  
※定員（20名）に達した場合、1事業者当たりの受講人数を制限させていただく場合がございますので予めご了承下さい。
- 参 加 費 無料

### ●令和2年度 機械加工技術者研修メニュー（予定）

	テーマ	日程	開催場所	予定講師	募集人数	募集状況
機 械 加 工 技 術 者 研 修	金属材料の破損・不良解析技術	11月下旬～1月中旬 3時間半/日(全5日間)	高知県工業技術センター	高知県工業技術センター 眞鍋豊士氏、土方啓志郎氏	各回5名	—
	3D CAD技術	12月下旬 6時間/全2日間	高知職業能力開発短期大学校	高知職業能力開発短期大学校 生産技術科 未定	20名	—
	機械保全・検査技術	2月中旬 6時間/全2日間	高知職業能力開発短期大学校	高知職業能力開発短期大学校 生産技術科 未定	10名	—

※研修毎に、別途ご案内申し上げます。（他の研修・セミナーに参加を希望される場合は、ご相談ください）

【お問い合わせ先】高知県中小企業団体中央会 連携推進部（担当：小澤）

TEL：088-845-8870 FAX：088-845-2434 E-mail：ozawa@kbiz.or.jp

## 品質管理研修（労働災害対策編）

～労働災害対策の意味・価値を見直そう！～

製造現場での作業者のうっかりミスは、災害発生（怪我・事故）の要因となります。そのため、災害例を知り事例分析することやヒューマンエラー対策を実施することが重要です。

本研修では、事例集や教材を活用して上記内容について学び、社内に水平展開できる方法などを習得します。

## 記

- 【受講対象者】 機械加工に従事（従事予定含む）し、品質安定や生産性向上を図るための知識を習得したい方
- 【日 程】 令和2年9月29日(火)・30日(水)  
両日とも9:00～16:00（昼休憩1時間含む）
- 【研修会場】 香南市野市町西野1595-1  
「高知職業能力開発短期大学校 コミュニティホール」
- 【講師】 高知職業能力開発短期大学校 生産技術科 広瀬直俊 氏
- 【研修内容、スケジュール】 「座学」と「ビデオ教材」での研修となります。

日 程	内 容		時間
9/29 (火)	労働災害とは	労働災害により生じる損失	3H
		労働災害の種類	
		ヒューマンエラーと災害（怪我・事故）との関係	
		ヒューマンエラー対策の重要性	
		リスクアセスメントの重要性	
		リスクアセスメントの実施	
9/30 (水)	災害事例の活用 事例分析（フライス盤・ 旋盤・フォークリフト・ 熱中症など）	機械加工時の安全の取り組み方法 （フライス盤・旋盤）※ビデオ教材	3H
		災害例	3H
		原因分析	
		再発防止対策	
		ポカヨケ・エラーモード分析などの活用場面	
		危険予知訓練（KYT）によるミス防止	
	ヒヤリ・ハット情報の収集と活用	3H	
ハザードとは			
	事例検討及び他部署への水平展開		
	総括・質疑応答		

※スケジュールと内容が若干ずれる場合があります。

持参品 筆記用具

※使用テキスト『災害・疾病事例と労災防止対策（労働新聞社）』は主催者側で準備致します。